



株式会社関西物流

2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年4月～2024年3月)



発行日： 2024年11月22日

環 境 経 営 方 針

<環境経営理念>

株式会社関西物流は、我々が地球上に存在する限り地球にやさしい環境を整備する事が永久的な課題であると考え、運送業・倉庫業を通じて環境負荷の低減を図るために全社一丸となって、自主的・積極的に環境活動に取り組みます。活動内容においては、各現場の班ミーティングにより定期的に見直しをはかり、一步一步前進していける体制を強化しながら継続的に事業活動を行ってまいります。

<環境保全への行動指針>

- 1 . 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- 2 . 二酸化炭素排出量の削減を推進し（電気、ガソリン、軽油、灯油）
- 3 . 廃棄物排出量の削減及び廃棄物の再生利用を推進します。
- 4 . 水使用量の削減を推進します。
- 5 . 経営における課題とチャンスを定期的に明確にし、事業の改善を行います。
- 6 . 地域美化活動に積極的に参画します。
- 7 . 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日： 2017年6月1日
改定日： 2024年1月26日

代表取締役 大竹 玉己

II. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社関西物流
代表取締役 大竹玉己
- (2) 所在地
本 社 〒670-0995 兵庫県姫路市土山東の町2番16号
飾西車庫 〒671-2216 兵庫県姫路市飾西534
飾東車庫 〒671-0217 兵庫県姫路市飾東町佐良和763-2
姫路倉庫 〒671-2244 兵庫県姫路市実法寺345-1
光都倉庫 〒679-5165 兵庫県たつの市新宮町光都1丁目472-37
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名・連絡先
責任者 代表取締役 大竹 玉己 TEL:079-292-3666
担当者 総務部 高橋 和大 TEL:079-292-3666
FAX:079-292-4665
E-r kansai-b.soumu@beach.ocn.ne.jp
- (4) 事業内容
一般貨物自動車運送業 構内運搬作業の請負業
貨物自動車利用運送業 倉庫業
- (5) 事業の規模
売上金額 54,264 万円(2023年度実績)

	本社	飾西車庫	飾東車庫	姫路倉庫	光都倉庫	作業請負先	合計
従業員	4名	18名	6名	5名	2名	37名	72名
延べ床面積	176.70㎡			1550.45㎡	1499.80㎡		3226.95㎡
敷地面積	165.28㎡	1758.00㎡	1314.17㎡	2317.12㎡	5078.52㎡		10633.09㎡

注:作業請負先の従業員は相手先のEMSに従う

一般貨物自動車運送車両・作業車・設備

区分	名称	台数	
	連絡車	3	
運送事業車	軽四トラック	1	
	1t トラック	1	
	2t トラック	2	
	3t トラック	1	
	4t トラック	21	
	8t トラック	1	
作業車	フォークリフト	18	
設備	ドライブレコーダー		4t車全車と一部車両
	アルコール検知器設備		
	自動ラック倉庫		

- (6) 事業年度 4月～翌年3月

□認証・登録の対象範囲

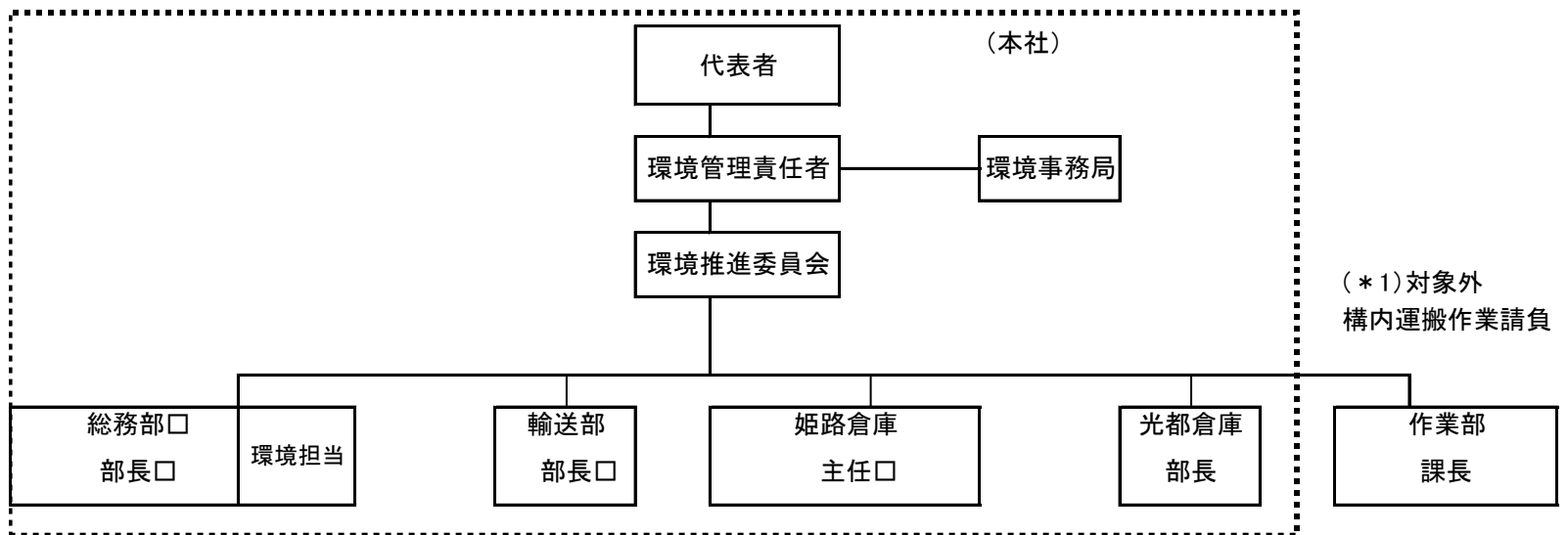
登録組織を株式会社関西物流
対象事業を本 社

飾西車庫
飾東車庫
姫路倉庫
光都倉庫

活 動: 一般貨物自動車運送業
貨物自動車利用運送業
倉庫業

活動外: 構内運搬作業の請負業(請負先のEMS構成員として活動している)

□ 環境経営実施体制



(* 1) 対象外 構内運搬作業請負については、請負先事業所との契約により事業所名は明記しない。

	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標・環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境教育訓練計画の作成と実施の管理 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
環境推進委員会	・環境目標・環境活動計画案の審議 ・環境活動の実施状況の評価、見直し ・環境教育の内容検討、実施結果の評価 ・特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む)
部門長(部長、主任)	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の運用管理 ・緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2017年度 基準年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	502,159	438,106	447,740	416,301
電力	kWh	69,256	70,558	84,865	88,374
ガソリン	L	2,683	2,388	854	847
軽油	L	177,187	155,583	158,732	146,387
灯油	L	762	279	190	260
廃棄物排出量					
一般廃棄物	kg	97	404	486	473
産業廃棄物	kg	0.00	0.00	230.00	30.00
水使用量	m ³	230	177	188	185
環境に配慮した輸 送業務	件 (不具合件数)	17	8	14	8

kai

(1) 中期目標

年 度 項 目		2017年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度
Ⅰ. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	502,519	472,368	467,343	462,317
	対基準		△6%	△7%	△8%
電力使用量削減	kWh	69,256	65,101	64,408	63,716
	kg-CO ₂	23,132	21,744	21,512	21,281
	対基準		△6%	△7%	△8%
ガソリン 使用量削減	L	2,683	2,522	2,495	2,468
	kg-CO ₂	6,229	5,855	5,793	5,731
	対基準		△6%	△7%	△8%
軽油 使用量削減	L	177,187	166,556	164,784	163,012
	kg-CO ₂	464,999	437,099	432,449	427,799
	対基準		△6%	△7%	△8%
灯油 使用量削減	L	762	716	709	701
	kg-CO ₂	1,899	1,785	1,766	1,747
	対基準		△6%	△7%	△8%
Ⅱ. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg	404	396	392	388
	対基準		△2%	△3%	△4%
産業廃棄物 削減	kg	380	361	357	353
	対基準		△5%	△6%	△7%
Ⅲ. 水使用量 削減	m ³	230	216	214	212
	対基準		△6%	△7%	△8%
Ⅳ. 環境に配慮した輸 送業務（不具合件数）	件	17	11	10	9
	対基準		△6件	△7件	△8件
Ⅴ. 地域貢献と社会貢献	件 (1回/月)		1	1	1
Ⅵ. 管理者会議	件 (1回/月)		12	12	12

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は、2018年度関西電力実績値の調整後排出係数
0.334kg-CO₂/kWhを使用
注2) 都市ガスについては、11月～4月にかけてファンヒーターと給湯器の使用となりますが
二酸化炭素排出量全体の0.1%程度のため活動外します。
注3) 一般廃棄物については、姫路倉庫稼働等考慮し2021年度実績を基準とする
注4) 化学物質は使用していない

(2) 対象期間の実績

年 度 項 目		基準	対象期間期間における実績		
		2017年度 (4月～3月)	(2023年4月～2024年3月)		
			目標	実績	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	502,519	472,368	416,301	○
			△6%	△17%	
電力使用量削減	kWh	69,256	65,101	88,374	×
	kg-CO ₂	23,132	21,744	29,517	
	対基準		△6%	0	
ガソリン 使用量削減	L	2,683	2,522	847	○
	kg-CO ₂	6,229	5,855	1,966	
	対基準		△6%	△62%	
軽油 使用量削減	L	177,187	166,556	146,387	○
	kg-CO ₂	464,999	437,099	38,417	
	対基準		△6%	△17%	
灯油 使用量削減	L	762	716	260	○
	kg-CO ₂	1,899	1,785	648	
	対基準		△6%	△66%	
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物 削減	kg	404	396	473	×
	対基準		△2%	17%	
産業廃棄物 削減	kg	380	361	30	○
	対基準		△5%	△92%	
III. 水使用量削減	m ³	230	216.0	185	○
	対基準		△6%	△20%	
IV. 環境に配慮した 輸送業務（不具合件 数）	件	17	11	8	○
	対基準		△6件	△9件	
V 地域貢献と社会貢献	件	基準年度なし	1	1	○
	1回/月			100%	
VI. 管理者会議	件	基準年度なし	12	12	○
	1回/月			100%	

注) 有価物として
 段ボール 530kg
 廃プラ 760kg
 産廃としての処理委託は 0

注) 一般廃棄物2021年度基準
 (姫路倉庫稼働量考慮)

注) 評価欄にて、○：達成(100%以上) △：やや未達成(100%未満～90%以上) ×：未達成(90%

V. 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減 (目標達成)		
・下記の通り。	◎	二酸化炭素排出量の削減については目標達成。 倉庫稼働量増加等により、電力使用量削減目標は未達となったが、その他エネルギーに関しては目標達成できた。 次年度以降においても、環境経営の意識を全従業員に徹底し、目標達成につなげる
電力使用量の削減 (目標未達成)		
・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	○	猛暑により冷房28℃の設定は難しく、目標達成できなかったが、季節により使用時間の削減を実施することで電力消費をおさえるよう取組む。
・照明器具更新	○	更新時期未到来により、あまり実施できなかった。
・冷暖房機の使用時期見直し	○	猛暑日以外の使用時間をできるだけ短縮するよう心掛けた。 今後も節電を意識し、取組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・急加速の抑制	◎	安全運転に注意し、行うことができた。
・運転者教育	◎	グループミーティングを実施し安全運転教育をすることが出来た。
・エコドライブ運転	◎	燃費向上を意識した運転を心掛ける。 効率的な移動、急発進、急停車の禁止、不要なアイドリングストップなど実施が出来目標値を下回ることができた。今後も引き続き使用削減を実施
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・急加速の抑制	◎	安全運転に注意し、行うことができた。
・運転者教育	◎	グループミーティングを実施し安全運転教育をすることが出来た。
・エコドライブ運転	◎	燃費向上を意識した運転を心掛ける。 売上増加に伴い軽油使用量は増加するも、目標値を下回ることが出来た。今後も引続きエコドライブの徹底により燃費管理し、使用量の削減を推進していく。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・暖房器具の更新	△	更新時期未到来により、あまり実施できなかった。
・スキマチェック	◎	暖房の効率化を意識して実施できた。
・暖房器具の使用時期見直し	◎	ウォームビズの実施により使用期間の短縮に努めた。
一般廃棄物の削減 (目標未達成)		
・帳票類の見直し	○	ペーパーレス化の検討及び推進(資料のデータベース化)
・ミスコピー防止の継続	○	コピー時用紙サイズの見直しを行っている。
産業廃棄物の削減 (目標達成)		
・分別によるリサイクルの推進	◎	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの掲示	◎	有価物と廃棄物の分別を行い、徹底する。
・リユースの共有	◎	リユース(再使用)の意味を理解し実施していく。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水意識の向上	◎	全体の意識向上しており継続していく。
・車輛洗車の節水	◎	洗車時には効率よく行えるよう工夫する。
・垂れ流しの禁止	◎	今後も周知徹底していく。
環境に配慮した輸送業務 (目標達成)		
・グループミーティングでの注意喚起	◎	随時実施できており安全指導と教育を行えている。
・社内全体安全会議の実施	◎	コロナ渦も落ち着き、全体会議も実施できた。
・事故惹起者のフォークリフト研修	◎	フォークリフト講習を行い、再発防止に努めている。 目標値を下回ることができたが、不具合件数昨年と同じ。
地域美化活動 (目標達成)		
・地域周辺のごみ拾い	◎	定期的に地域周辺の清掃活動を行っている。
・倉庫周辺の溝掃除	◎	溝掃除により泥の撤去を行っている。
・車庫外回りの草刈り	◎	車庫内及び外周りの清掃を心掛け、整理整頓を行う。 平素から社内美化活動を行い、地域の清掃活動の意識向上に努める。
管理者会議 (目標未達成) (開催回数未達成)		
・各部門で完結型の業務	◎	事業別の結果報告、また次へ向けての意見等が出ていた
・事業拡大の提案	◎	輸送部、倉庫部において新規顧客獲得ができた。
・各部門の情報共有	◎	部署ごとに今起きていること、今後の見通し等共有ができた コロナ渦も落ち着き計画通り実施できた。

VI. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
廃棄物処理法	一般収集業者の許可の確認、契約書の締結 産業収集運搬・処理業者の許可の確認、契約書の締結 適切な廃棄物の適正な管理 産業廃棄物管理票交付状況報告書	遵守
自動車NOx・PM法	一定規模事業者の自動車使用管理計画作成、取組状況報告 対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用(車種規制)	遵守
消防法	事故時の措置と届出(通報)、消火器の点検	遵守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	遵守
フロン排出抑制法	フロン使用機器の廃棄時の適正な処分	廃棄実績なし
	フロン使用機器の定期点検と記録の保存	遵守
オフロード法	基準に適した特殊自動車の使用 点検整備	
道路運送車両法	日常点検整備・定期点検整備 点検／整備記録、保存	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、関係当局より違反等の指摘、訴訟、環境上の苦情等も過去6年間ありませんでした。

VII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

地球温暖化により、気候変動にも年々大きく影響を及ぼす状況下で、引き続き一人一人が未来の地球の為出来ることを継続していくことが重要であると思っています。社内では、働き方改革や人材不足が影響したことで、車両の台数や稼働が減少したことにより、目標達成できた部分もありますが、全体的にエコ活動を継続することが浸透し、環境保全に取り組んでいることを感謝いたします。従業員一人一人が日々の意識の積み重ねにより、エコアクション21の活動の意義を理解し今後も取り組んでまいります。

2024年11月22日
代表取締役 大竹 玉己

VIII. 環境活動の紹介他



＜安全会議＞



＜溝掃除＞姫路倉庫



＜清掃活動＞飾西車庫



＜フォークリフト安全講習＞



＜ひょうごSDGs推進宣言＞

